



赤ふん坊やの貯金箱に好きな色を塗る児童＝27日、高浜小

高浜小のイラストクラブが27日、同校で開かれ、児童は高浜町のマスコットキャラクター「赤ふん坊や」の貯金箱の彩色に挑戦した。来月に町内で開幕する「若狭たかはまひなまつり」での展示に向け、思い思いにカラフルに塗っていた。

同校で毎月3回あるクラブ活動の一つで、4、6年生21人が参加した。地域おこし協力隊で、高浜まちづくりネットワークの山本幸作さんが講師を務めている。同ネットが町内の和田診療所の井階友貴医師から貯金箱の寄贈を受け、ひなまつりでの展示を企画した。

貯金箱は高さ約11センチ。児童はアクリル絵の具やペンなど好きな道具を使って早速、色を塗り始めた。ふんどしを水色にしたり、髪を赤や紫に染めたり、自由な発想で世界に一つだけの赤ふん坊やを生み出そうと夢中になっていた。5年生の和田美都さんは「高浜の海を表現したかった」と後頭部の刈り上げ部分を、青と水色のグラデーションに仕上げていた。

貯金箱は次回のクラブで完成させ、2月19日に始まるひなまつり期間中、同ネットで展示する。

# 赤ふん坊やカラフル 高浜小児童貯金箱色付け